

KIKUCHI PROJECTION SCREEN

電動巻上型スクリーン（E I）
代理店（施工業者）様用
設置説明書

このたびはキクチプロジェクションスクリーンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。
お求めのプロジェクションスクリーンを正しく設置していただくため、お使いになる前に必ずこの「設置説明書」
をよくお読みください。お読みになったあとは大切に保存してください。

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる、危害や、
損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。

安全上 ご注意

下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」
内容です。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



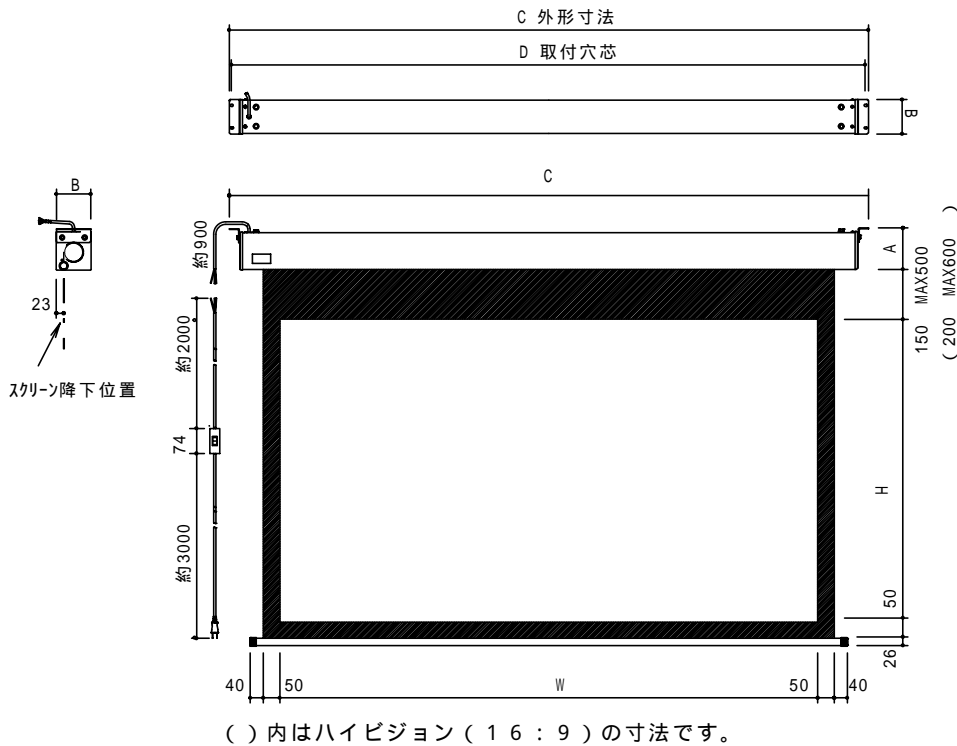
このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



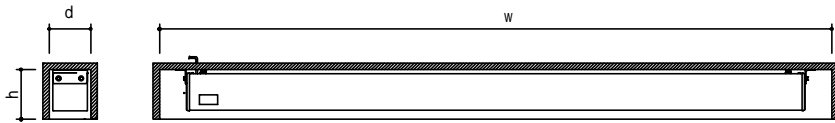
このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

取り扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

電動巻上型スクリーン寸法図



天井埋込ボックス参考寸法 (内寸法)



付属品

- リミッター調整用六角レンチ × 1本
- 取り付け用ビスセット × 一式
- 取り扱い説明書 × 1冊
- 壁取り付け昇降スイッチ × 1台

スクリーン規格一覧

NTSCタイプ 4 : 3

(260G・190PROG・160AG・ホワイトマットアドバンス・グレイマットアドバンス)

型番	スクリーンサイズ (W) × (H)	ケース外寸 (A) × (B) × (C)	取付穴芯 (D)	重量	モーター出力	天井埋込BOX内寸 (h) × (d) × (w)
SBEI-70	1422 × 1067	125 × 105 × 1728	1712	11.2	80W	150 × 125 × 1830
SBEI-80	1626 × 1219	125 × 105 × 1932	1916	12.2		150 × 125 × 2030
SBEI-100	2032 × 1524	125 × 105 × 2338	2322	16.2		150 × 125 × 2440
SBEI-120	2400 × 1800	125 × 105 × 2706	2690	18.2		150 × 125 × 2800

参考寸法

御客様にて御用意下さい。

ハイビジョンタイプ 16 : 9

(260G・190PROG・160AG・ホワイトマットアドバンス・グレイマットアドバンス)

型番	スクリーンサイズ (W) × (H)	ケース外寸 (A) × (B) × (C)	取付穴芯 (D)	重量	モーター出力	天井埋込BOX内寸 (h) × (d) × (w)
SBEI-80HD	1771 × 996	125 × 105 × 2077	2061	13.7	80W	150 × 125 × 2180
SBEI-90HD	1992 × 1121	125 × 105 × 2298	2282	14.9		150 × 125 × 2400
SBEI-100HD	2214 × 1245	125 × 105 × 2520	2504	16.4		150 × 125 × 2630
SBEI-110HD	2435 × 1370	125 × 105 × 2741	2725	18.4		150 × 125 × 2850
SBEI-120HD	2656 × 1494	125 × 105 × 2963	2947	20.0		150 × 125 × 3070

(注) 160AGは、シアターグレイアドバンスの略称表記です。

(注) AMはグレイマットアドバンスの略称表記です。

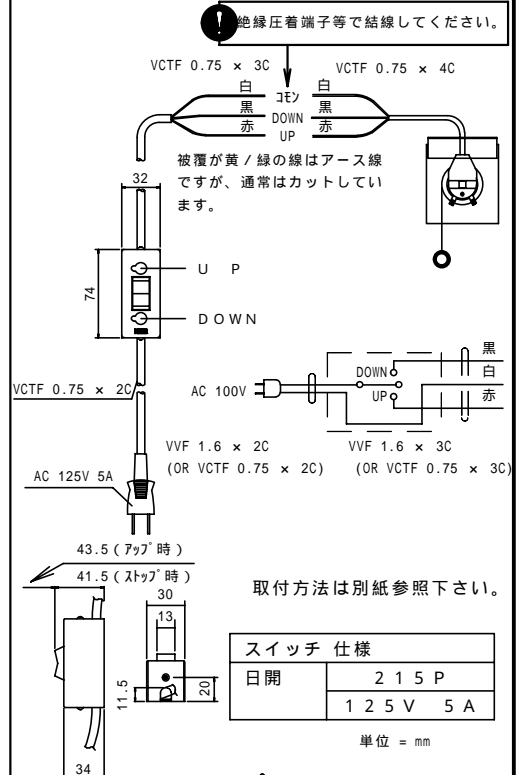
(注) WAは、ホワイトマットアドバンスの略称表記です。

単位 = mm/kg

電動スクリーン用スイッチ

壁取り付け昇降スイッチ (標準品 - 同梱してあります。)

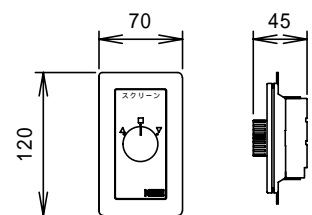
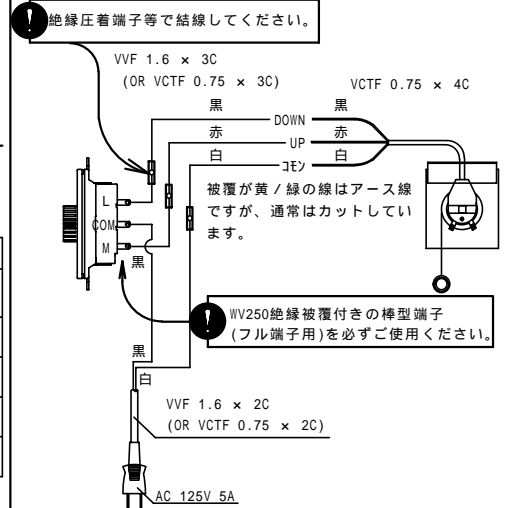
モーターの結線方法



白線はコモン線です。
赤又は黒線を逆に結線しますと、UP・DOWNが逆になります。
結線図は、標準スイッチ・オプションスイッチ共通です。

壁埋込スイッチ (オプション)

モーターの結線方法



スイッチ仕様	
松下電工	WTC5880W
	250A 6A

単位 = mm

白線はコモン線です。
赤又は黒線を逆に結線しますと、UP・DOWNが逆になります。
結線図は、標準スイッチ・オプションスイッチ共通です。

スクリーン取付方法



警告

スクリーンを設置する壁や天井が石膏ボードや、パーティクルボードなどの場合は、少なくとも200Kgの重量を支えられる下地が必要です。
強度が心配な場合は、必要に応じて補強してください。



注意

天井取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。

壁取付に際し、下記の方法は絶対しないでください。



禁止

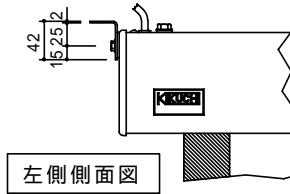
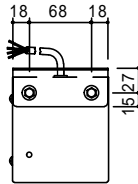
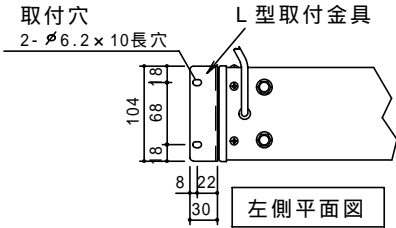
- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・ALCアンカーによる吊り下げ
- ・天井裏Mバーへ直接重荷をかける施工



禁止

- ・ボードアンカーのみによる施工
- ・下地補強無し施工

L型取付金具寸法図

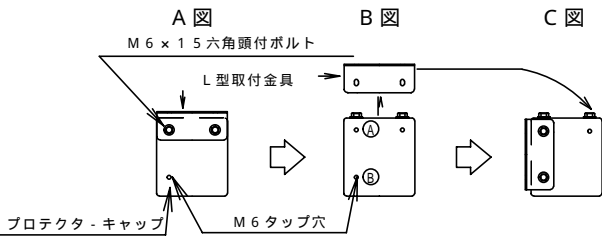


右側L型取付金具は、上図と同様です。

L型取付金具 取付向き変更手順

取付手順

出荷時取付金具は、天井取付用になっています。壁に取付する場合は、下図要領に従って金具位置を変更してください。



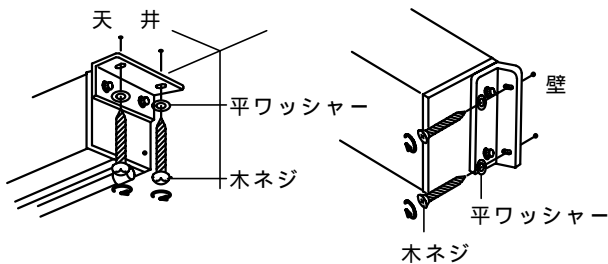
1. ボックスレンチなどでM6 x 1.5 ボルト をゆるめてL型取付金具 をはずしてください。
2. L型取付金具 を90°度回転させ、先にはずしたM6 x 1.5 ボルト / 平ワッシャー をM6タップ穴の(A) (B) に差して、締め込む。(C図参照)

合板の天井または壁に設置する場合



注意

合板は、少なくとも20mm以上の厚さが必要となります。



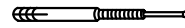
付属品

下記の設置用部品が付属しています。



警告

下記設置部品以外での取付はおやめください。取付等の不備による脱落の恐れがあります。



M6 コンクリートアンカー (4本)



木ネジ (4本)



平ワッシャー (4個)



M6 六角ボルト (4本)



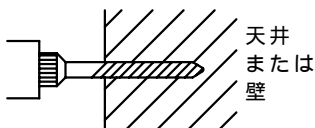
M6 ナット (4個)



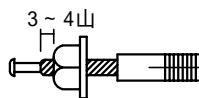
六角レンチ (1本)

コンクリートの天井または壁に設置する場合

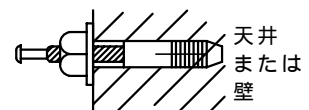
1. 壁または天井に径6.4mmのドリルで深さ55~60mmの穴をあけます。
2. コンクリートアンカーのネジ部にM6ナットをつけます。この時、ネジ山が3~4山(3~4mm)M6ナットの頭から出る様にします。
3. コンクリートアンカーを穴に差し込みます。



天井
または
壁

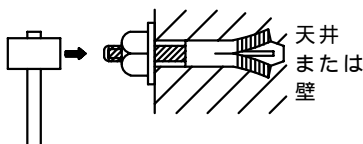


3~4山



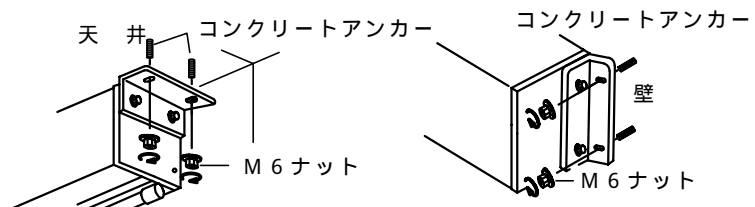
天井
または
壁

4. ピンの頭がネジ部分にあたるまで、ピンを打ち込みます。打ち終わったらM6ナットを取りはずします。



天井
または
壁

5. スクリーンの取付金具の穴を、コンクリートアンカーのネジ部分にはめこみ、M6ナットで締め付けて固定します。



スクリーンは上部黒マスク巾（有効画面上部より金属ケース間）は約150mm（HDは200mm）に設定されていますが、（工場出荷時）、スクリーンケースに内蔵されているリミッターにより御希望の位置に変更する事が出来ます。（最大500mmまで。HDは600mmまで。）

スクリーンを下げたい場合（下図参照）

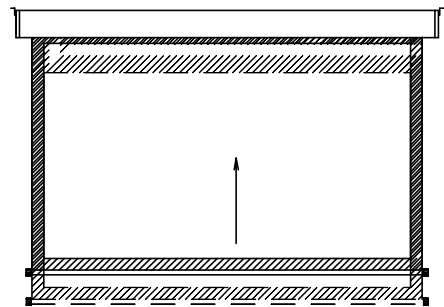
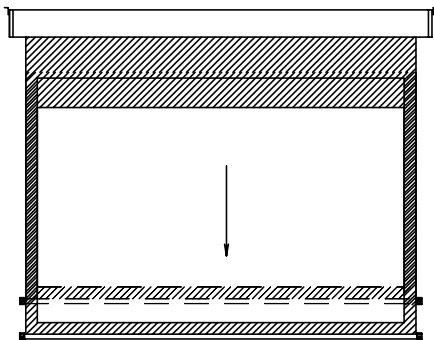
1. スイッチをDOWNに入れ、スクリーンが止まるまで待ちます。
2. スイッチはDOWNに入れたままにします。
3. 調整ボリュームNO.1を反時計廻り（+表示側）へ付属の六角レンチ又は、小さいドライバー等で回します。（ボリュームを一回転するとスクリーンは約25mmピッチで下がります。）
4. 御希望の位置になるまで続けてください。

スクリーン位置を上げたい場合（下図参照）

1. 調整ボリュームNO.1を時計廻り（無表示側）に2～3回、回します。（一回転で約25mm上がります。）
2. スイッチをUPにし、スクリーンを30～40cm上げます。
3. スイッチをDOWNにし、スクリーンを下げ停止するまで待ちます。
4. 調整ボリュームNO.1を、反時計廻り（+表示側）に回すと、一回転でスクリーンは約25mmピッチで下がります。
5. ご希望の位置になるまで続けてください。

スクリーンが下がり過ぎた場合

スクリーン位置を上げたい場合を参照ください。



リミッタースイッチNO.2はUPリミッター調整用ですが、工場出荷時に調整済みです。みだりに調整ボリュームを回しますと、下部パイプがケースの中に食い込んでしまい故障の原因となります。



2分以上連続操作すると、モーター内部のサーマルスイッチが働きモーターは停止します。

暫く放置すると（15～20分）、サーマルスイッチが解除になり操作可能になります。（故障ではありません。）

左底面部（下から見た図）

調整ボリュームNO.2（上限専用）



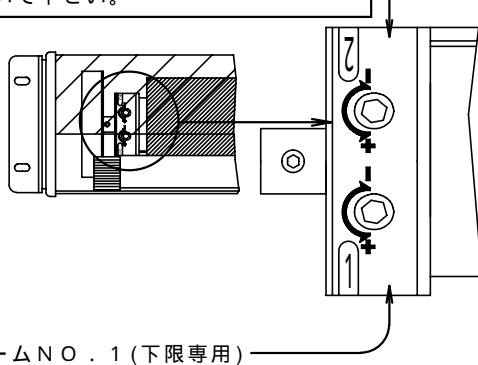
通常の設置時は特に調整はしないでください。

下部パイプがケースに喰い込んでしまいます。



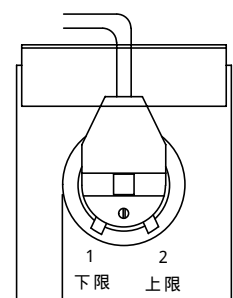
工場出荷時に調整済みですのでこのボリュームには触らないで下さい。

調整ボリューム表示	
反時計廻り	+表示側
時計廻り	無表示側



調整ボリュームNO.1（下限専用）

左側面部



スクリーン面

下部パイプ

